

# 協同の力で築く明日の農業

## JA中札内村

### 中札内農業のご案内

## ごあいさつ



### 中札内村農業協同組合 山本勝博

中札内農業は、過去11次にわたる中長期計画を中心に発展を遂げ、現在に至っています。この間、生産組織の確立には小組合運動に始まり、法人化、共同化、生産団地、部会制度、機械銀行、機械センター、コスト対策として、澱粉工場、肥料工場、飼料工場、農畜産物加工工場など、組合員総意の試行錯誤の中で事業をすすめ、地域複合農業を推進し、昭和60年有機投入量全耕地1.92t/10aを実現して「有機農業の村」宣言を行いました。

その後、新しい農業基本法の制定、貿易自由化と規制緩和がすすみ、価格政策では、市場原理の導入、民間流通への移行、農政改革による品目横断的な経営安定対策の導入などにより、農家経済は厳しい状況にありますが、第12次中期5ヶ年計画の4年目に目標とする農業粗生産高100億円を突破することができました。

現在、第13次中期5ヶ年計画を策定中ですが、今後に於いてもこれまでの蓄積を生かし、有機質の計画的投入による土作りを基本とした安全、安心、良品質な農畜産物の生産と販売に取り組んでまいります。

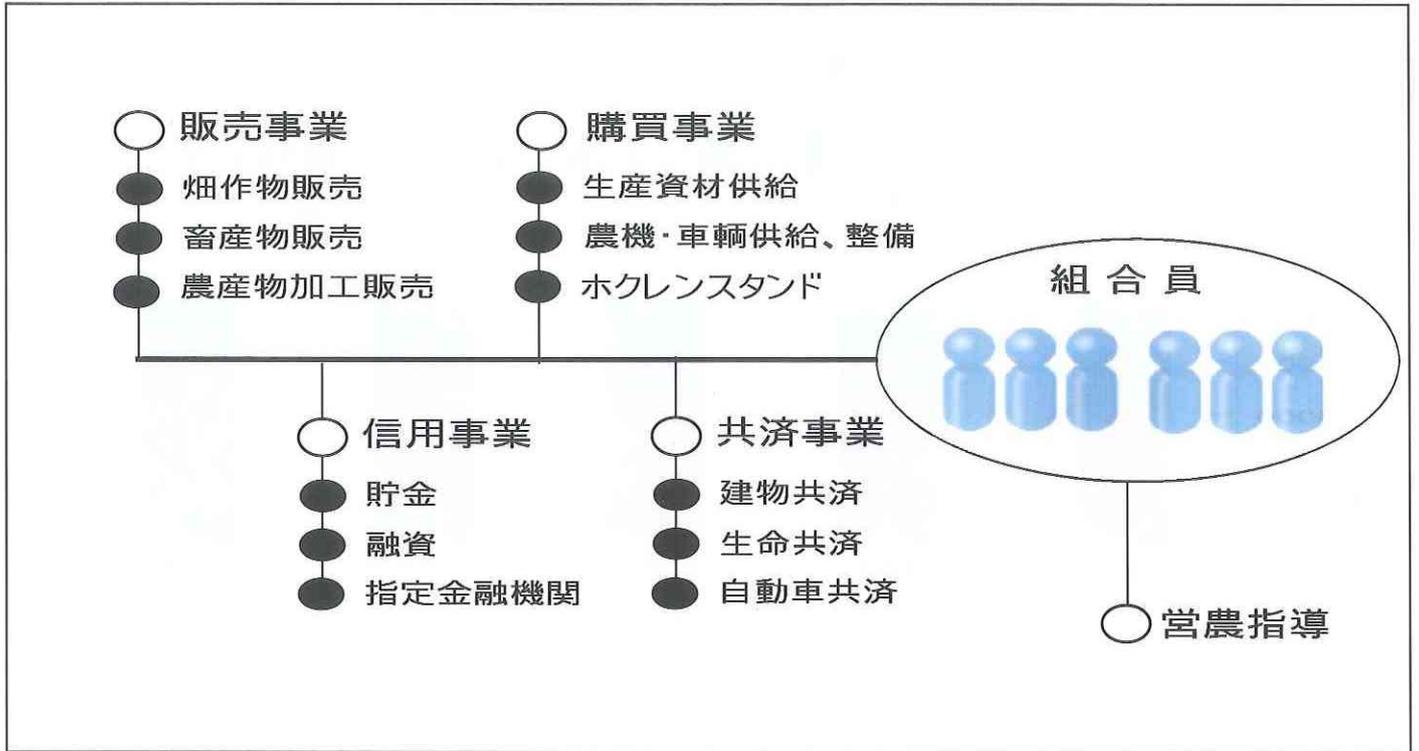
#### 中札内村の概要

- (1)位置 本村は十勝平野の南にあり、東は更別村、西は帯広市川西町、南は日高連峰を距て静内町、そして北は帯広市大正町に接している。
- (2)地勢 村の中央を札内川が流れ、戸蔦別川と合流して十勝川に注いでいる。
- (3)気象 内陸性の気候で融雪は4月中旬であるが、5月上旬になっても雪の降ることもある。初霜は10月上旬、根雪は11月下旬、積雪寒冷単作地帯で圃場期間は170日位である。(年間降水量約1,300mm・上札内)
- (4)人口、世帯数 4,075人 1,804世帯(21年5月15日現在)
- (5)総面積 29,269ha  
内訳 農用地 7,190ha(26.4%)(1戸平均40.05ha)  
山林原野 19,028ha(65.0%)  
その他 3,051ha(10.4%)
- (6)分村 昭和22年に旧大正村から、中札内村、更別村が分村、独立する。

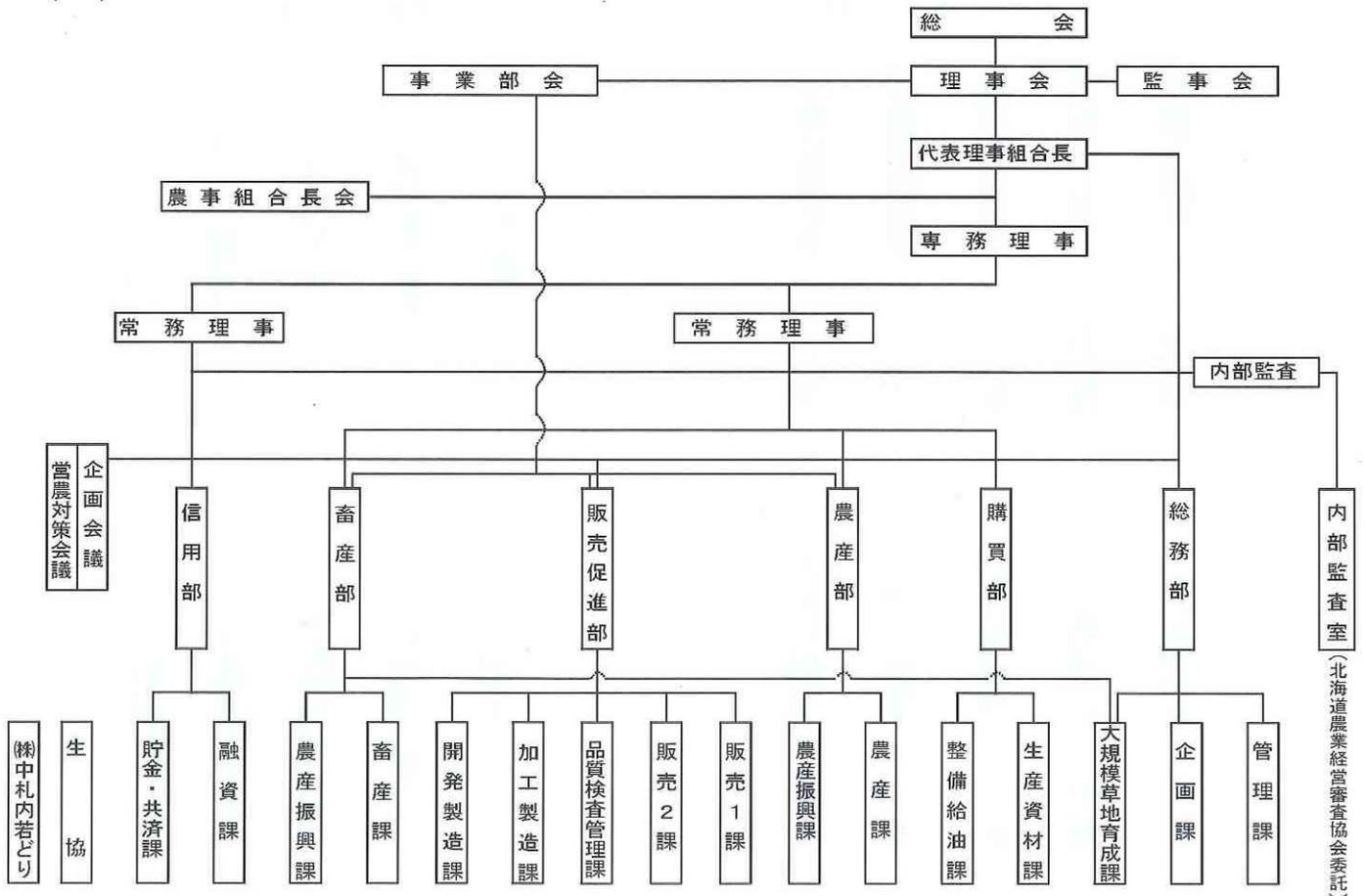
#### 組織概要

- 設立 昭和23年3月6日
- 組合員数 正組合員数 222名  
(内個人176名 法人40団体)  
准組合員 648名  
農家個数 171戸
- 役員数 理事9名 監事3名
- 職員数 76名
- 組合員組織 JA青年部  
JA女性部  
年金友の会
- 農畜産物生産部会 豆作事業部会  
甜菜事業部会  
馬鈴薯事業部会  
枝豆事業部会  
酪農事業部会  
養豚事業部

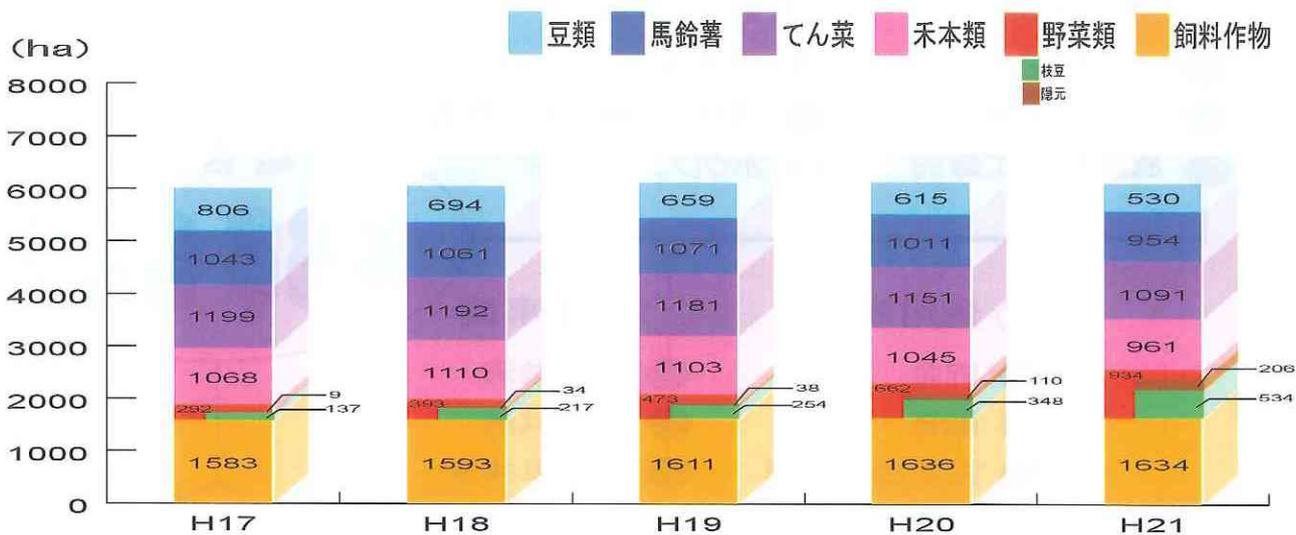
# 組織概要



# 組織機構図

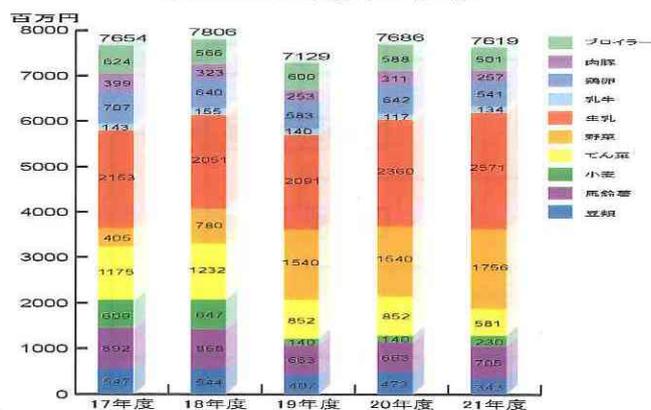


## 作付面積の推移

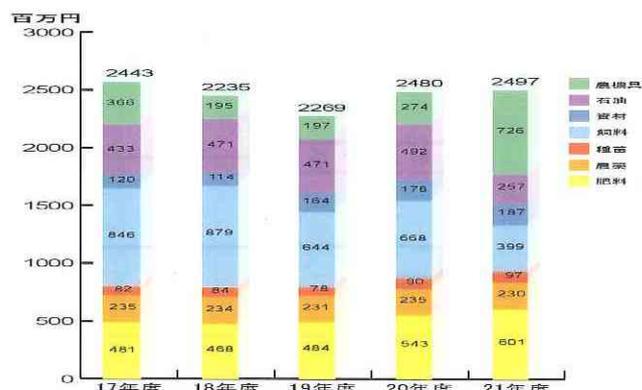


## 販売高・購買高の推移

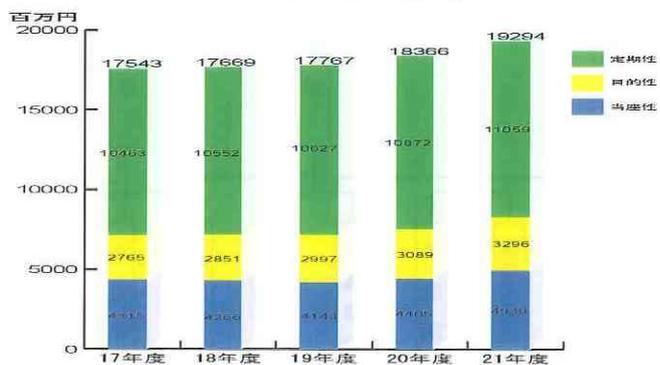
販売品取扱高の推移



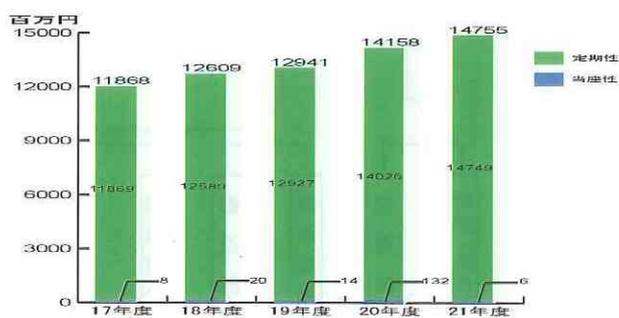
購買品供給高の推移



貯金残高の推移



預金残高の推移



## 経済事業

### ● 販売事業

組合員の生産した農畜産物の収出荷、選別、販売などを担い、組合員がより高い農業所得を確保することを目的として、JAが組合員に代わり一元集荷を行い、共同で多元販売を行う事業です。

消費地の需要や要望を生産者に伝え、需要に応じた生産を誘導するほか、生産履歴の記帳などにより、安全でかつ安心な農畜産物を供給して、消費者の信頼確保に努めております。当JAでは農畜産物の受託販売、買取販売だけでなく、農産物加工処理施設において地場産物の素材を生かした加工食品(冷凍枝豆、きなこ、枝豆焼酎、枝豆羊羹、味噌、枝豆カレー、枝豆そば等)の製造及び販売にも取組んでおります。



豊富な枝豆加工商品



### ● 購買事業

購買事業は、肥料や農薬などの生産資材の供給、農業機械や車輛の供給と修理、灯油や軽油などの燃料油脂の供給が主なる事業です。

組合員の必要な物資を協同で購入して、安定して供給することでコスト低減や仕入れ条件の優位性確保の面から「予約購買」「とりまとめ購買」などを積極的に実施し、肥料配合工場では、肥料の配合製造、供給も行っております。

さらに、ダイオキシンの問題になっている肥料・農薬の空袋、ビニール等や不要農機具等の廃品回収を実施し、景観や環境問題にも積極的に取組んでおります。



廃プラスチック回収

肥料配合製造

### 信用事業

#### ● 貯金業務

組合員の方はもちろん、地域住民の皆様や事業主の皆様からの貯金をお預かりしています。  
また、公共料金、都道府県税、市町村民税、各種料金のお支払い、年金のお受取り、給与振込等もご利用頂けます

#### ● 貸出業務

農業専門金融機関として、農業の振興を図るための農業関連資金はもとより、組合員皆様の生活を豊かにするための生活改善資金等を融資しています。

また、地域金融機関の役割として、地域住民の皆様の暮らしに必要な資金や、地方公共団体、農業関連産業・地元企業等、農業以外の事業へも必要な資金を貸し出し、農業の振興はもとより、地域社会の発展のため貢献しております。

#### ● 共済業務

JA共済は、JAが行う地域密着型の総合事業の一環として、組合員・利用者の皆様の生命・傷害・家屋・財産を相互扶助によりトータルに保障しています。

個人の日常生活のうえで必要とされる様々な保障・ニーズにお応えしています。



### 営農指導事業

営農指導事業は、組合員の営農活動がより合理的に、より効果的に行われるよう、営農技術、経営改善指導を行うとともに、地域における農業生産力の維持・拡大を通じて地域社会の発展に貢献するための事業です。

組合員の所得向上を目指した経営・技術指導ばかりでなく、農業振興の策定、土地、資本、労働力、機械、施設等の有効利用をはかり、生産施設整備・計画販売作り、健康管理活動も含めた営農を支援する役割を担っています。



## 施設紹介



農業管理センター



営農コミュニティセンタ



農産物加工処理施設事務所



農産物加工処理施設



肥料配合工場



肥料保管庫



馬鈴薯貯蔵施設



馬鈴薯選別施設



豆類乾燥施設



麦乾工場



車輛整備工場



ホクレンスタンド

## 直売所の設置

農産物加工処理施設の敷地内に通年営業の直売所を設置し、また春から秋にかけては、中札内道の駅、帯広市内、幕別町に季節営業の店舗を設置し、枝豆等の農畜産物加工品や地場産を中心とした野菜等を販売しております。

地産地消の取組の一環として、また、安心・安全・良品質な農畜産物を消費者にお届けするために開設しており好評を頂いております。



↑中札内店(工場内)

↓中札内道の駅



↑札内店(幕別町)

↓帯広西5条店



## 主な農産物

### 枝豆

#### Green Soybeans

枝豆は、未成熟の大豆で「畑の肉」と言われている大豆と同じく栄養価が高く、大豆よりも多くのビタミンCが含まれています。

また、さやに守られているため茹でても栄養価があまり変わらないという特徴があります。

中札内村の枝豆は収穫、加工、冷凍までを3時間以内で終了し、自然の風味と鮮度を保ち「美味しさを密封」しています。

### 豆類

#### Beans

中札内村では、生きた土でのクリーンな農業を目指しています。

畑作と畜産の連携による循環農業に取り組み、有機農業の村として「健康・安全で美味しい食文化」をモットーに、全国の皆様へ喜んでいただける作物作りに励んでいます。

### てん菜

#### Suger Beet

てん菜は、砂糖大根とも呼ばれる砂糖の原料として北海道のみで栽培されている作物です。中札内村でのてんさいの生産は、肥沃な土壌を背景に化学肥料を最低限に抑えた栽培で、良質な砂糖の原料を日甜製糖工場へ供給しております。日甜製糖工場では、すずらん印のグラニュー糖や上白糖の他、オリゴ糖を含む「ビートオリゴ」など消費者ニーズに対応した商品の製造を行っております。

### 馬鈴薯

#### Potato

馬鈴薯が美味しく育つ条件である冷涼で寒暖の差がでんぷんを多く含んだ甘い馬鈴薯を作っています。また、品質のよい馬鈴薯を作るために、徹底した管理を行っております。

品種は、ポテトチップス・ポテトサラダ・デンブンなど用途に応じた多くの品種を提供しております。

### 小麦

#### Wheat

中札内村で生産される小麦は、冷涼な気候と有機物の多い圃場で時間を掛けて育った、良質で麺適性に優れ自信をもって提供できる小麦です。

品種は「ホクシン」という品種を作付して、主にうどんに利用されています。

### 山ごぼう

#### Mountain Burdock

えだ豆に続く作物として、平18年よりヤマゴボウの栽培を開始しました。

中札内村の寒暖差のある地域で栽培されたヤマゴボウは歯ごたえと風味が強いと評判です。

## 主な畜産物

### 牛乳

#### Milk

中札内村の広大な大地の中で、牛たちはストレスもなく伸び伸びと元気に育っています。また、冷涼低湿の気候と良質の土壌は良い牧草を育ててくれます。この大自然が元気な牛を育て、安定的に牛乳を生産することができます。

年間3万5千トンの牛乳を出荷しております。

### 養豚

#### Pork

健康な豚を育てるために飼料の原材料や配合にこだわり、豚に極力ストレスを与えない飼育をおこなっています。中札内村産の豚は弾力性に富んだ肉質に旨みのある脂肪部分が特徴です。徹底的な衛生管理のもと安心して食べて頂ける豚肉として年間約9,000頭を出荷しています。

### 食鶏

#### Broiler

中札内の鶏は臭みや余分な脂質を抑えるために、飼料に地養素を配合しています。地養素というのは木酢液や沸化石、酵素、海藻、ヨモギ粉などのことで、これらを添加した漢方処方の特製飼料を使用し、「臭みを抑えた」「脂身の少ない」「コクのある」鶏肉で年間1,800トンを出荷しております。

### 採卵

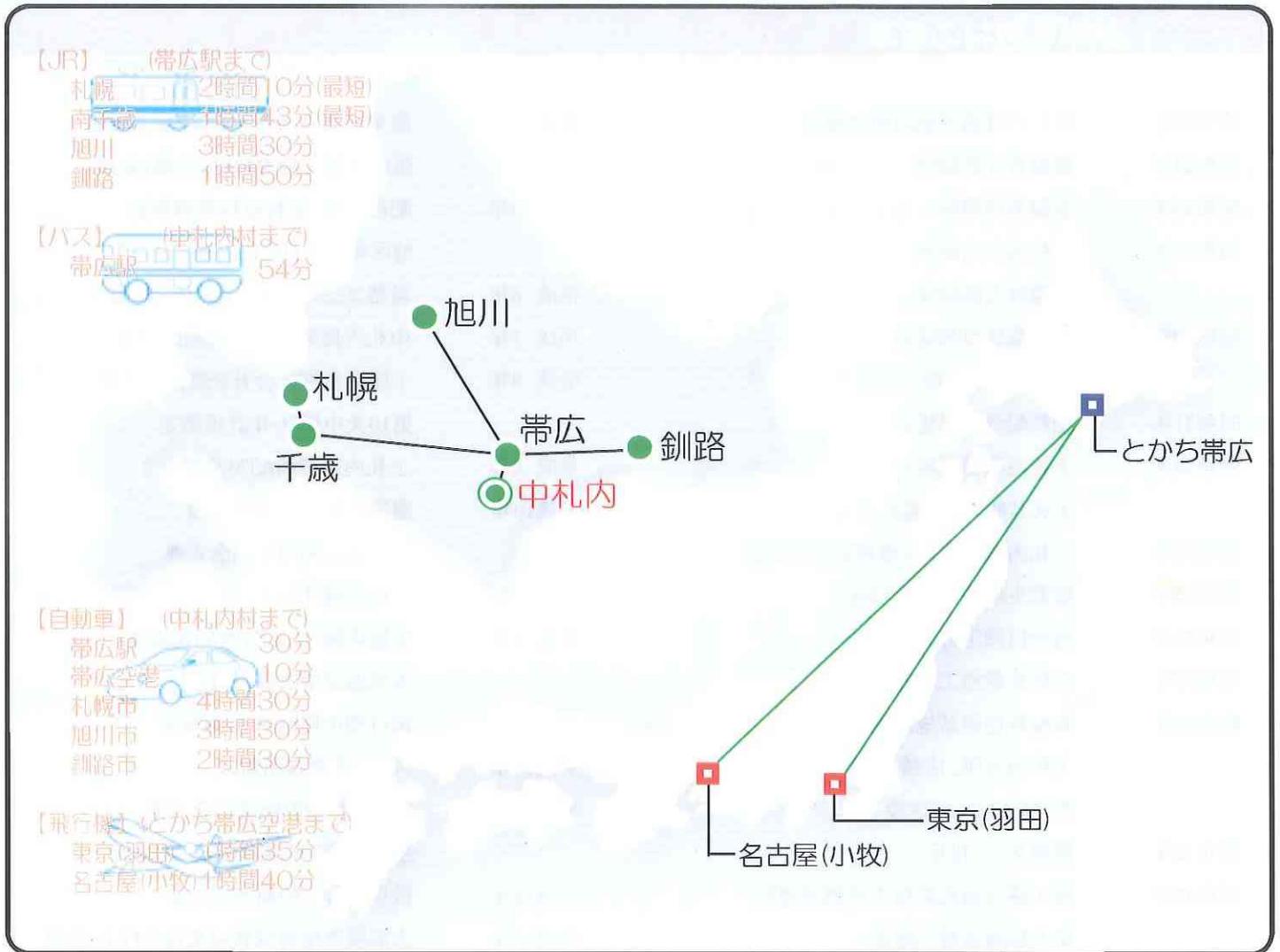
#### Egg

中札内の卵は日高山脈を背景に大自然の中、鶏を育てるのに最適な環境で飼育しています。

餌には生産者で組織する「自家配合飼料工場」で鶏の生理にあわせた良質で安全な配合設計をしており、中札内の卵は自然の甘みが特徴です。年間約3,600トンを出荷しています。

## JA中札内村の沿革

昭和23年	中札内村農業協同組合設立	平成 4年	農業情報ネットワークシステム稼働
昭和24年	農協青年部結成		農産物加工施設(枝豆工場)建設
昭和26年	有線放送開始	平成 5年	肥料倉庫・肥料原料倉庫建設
昭和29年	上札内支所新築		地区を農事組合に再編
	農協婦人部結成	平成 6年	営農コミュニティーセンター建設
昭和30年	農協集乳事業開始	平成 7年	中札内農業活性化研究所設立
	澱粉工場、乾燥工場建設	平成 8年	十勝農業株式会社を農協に移管
昭和31年	肥料配合工場建設		第10次中期5ヶ年計画策定
昭和32年	上札内澱粉工場建設	平成 9年	上札内事業所ATM設置
	生乳共販実施、集乳所建設	平成10年	農業体験宿泊施設建設
昭和33年	上札内農業倉庫、種畜管理所建設		農協創立50周年記念式典
昭和35年	農業生産法人設立(3社)	平成11年	生協店舗「ピュア」開店
昭和36年	組合員勘定方式実施	平成12年	生協店舗「ピュア」内ATM設置
昭和37年	合理化澱粉工場建設		麦乾施設増改修
昭和38年	有線放送電話施設完成	平成13年	第11期中期5ヶ年計画策定
	上札内支所、店舗、職員住宅、	平成14年	スケール事務所新設
	ガソリンスタンド建設	平成15年	てん菜反収7t突破記念式典
昭和42年	農協グラフ刊行		生乳出荷3万t突破記念式典
昭和43年	南十勝合理化澱粉工場操業開始	平成16年	枝豆羊羹等の新商品開発
	法人協議会設立総会	平成17年	大規模草地育成牧場業務を村より受託
昭和45年	南十勝農工連飼料工場完成		枝豆収穫機を導入(フランスより輸入)
	農業倉庫落成(400坪政府指定)		農産物加工処理施設(枝豆工場)増築
昭和46年	農業管理センター落成		農産物加工処理施設事務所建設
昭和48年	馬鈴薯貯蔵庫施設完成	平成18年	枝豆を道産原料使用登録商品に登録
昭和50年	機会銀行設立		枝豆焼酎販売開始
	麦類乾燥貯留施設完成		農産加工施設トラックスケール取得
	事業部会制導入	平成19年	枝豆加工商品(コロッケ、カレー等)発売
昭和53年	農協創立35周年記念		馬鈴薯集出荷貯蔵管理施設建設
昭和55年	農業技術センター設立		枝豆加工製品(プリン、そば等)発売
昭和57年	肥料配合工場施設建設	平成20年	枝豆加工製品(冷麦、そば寿司等)発売
昭和59年	全国銀行内国為替制度加盟		給油所セミセルフ化
	農協無線施設完成	平成21年	わが村は美しくー北海道 銀賞受賞
昭和60年	中札内村畜産研究所設立		全国農業コンクール名誉賞受賞
	朝日農業賞受賞		農産物加工処理施設(枝豆工場)増築
	農協信用事業オンライン稼働	平成22年	日本農業賞 特別賞 受賞
	「有機農業の村」宣言		農業推定粗生産高100億円突破
昭和62年	財務・組合員勘定電算化		
平成2年	ホクレン中札内村給油所新築		
	都銀・地銀とのCDオンライン化		



## JA中札内村 中札内村農業協同組合

本所	中札内村東1条南2丁目14番地	TEL 0155-67-2211 FAX 0155-68-3014
農産物加工処理施設	中札内村東1条北8丁目1番地	TEL 0155-67-2211 FAX 0155-68-3331
麦乾燥調整施設	中札内村東5条南5丁目	TEL 0155-67-2632 FAX 0155-67-2632
芋貯蔵施設	中札内村東4条南1丁目	TEL 0155-68-3902 FAX 0155-68-3902
車輛整備工場	中札内村東2条南2丁目	TEL 0155-68-3920 FAX 0155-68-3922
ガソリンスタンド	中札内村大通3丁目	TEL 0155-67-2645 FAX 0155-67-2645

# 中札内村枝豆生産の歩み

中札内村農業協同組合

## 1. 中札内村の枝豆の経緯

(1)	昭和58年9月	マツダ樹生園種子圃場より、枝豆として少量手もぎで収穫 十勝産業の農畜産物加工施設で試験製造
(2)	昭和59年	耕作者3名 手もぎ収穫で、製造開始 生産量(約3t)
(3)	平成元年	枝豆作る会を設立 耕作者20名 群馬県松本農機より (手持ち式収穫機)導入。枝豆品種(さっぽろみどり極早 生)を栽培 帯広市民生協と商品開発、協同購入販売開始 (生産量10t)
(4)	平成2年	枝豆品種(白熊3号)を栽培 コープさっぽろ・釧路市民生 協、協同購入販売開始 生産量(20t)
(5)	平成3年	耕作者30名 本田農機(枝豆ピッカー600型)導入 日本生活協同組合連合会関東地域一部試験販売開始 枝豆品 種(白熊トップ)大袖の舞大豆等試験栽培生産量(約50t)
(6)	平成4年	工場新設
(7)	平成7年	アーサーリフト収穫機2台導入
(8)	平成8年	アーサーリフト収穫機2台導入
(9)	平成17年	工場増改築 フランス製ハーベスター収穫機1台導入
(10)	平成18年	フランス製ハーベスター収穫機1台導入
(11)	平成21年	工場増改築 フランス製ハーベスター収穫機1台導入

## 2. 中札内村枝豆生産実績推移

年 度	作付面積	反 収	生産量	単 価	生産額	備 考
	(ha)	(kg)	(kg)	円/kg	(千円)	
平成4年	23.10	416.0	96,096	260	24,985	十勝産業
平成5年	31.00	18.7	5,797	260	1,507	
平成6年	35.90	785.5	281,995	260	73,319	
平成7年	31.50	480.0	151,200	200	30,240	農協事業
平成8年	22.00	300.0	66,000	200	13,200	
平成9年	34.98	568.0	198,686	200	39,737	
平成10年	41.90	515.7	216,078	200	43,216	
平成11年	43.00	578.5	248,755	200	49,751	
平成12年	42.62	625.6	266,631	200	53,326	
平成13年	30.00	369.0	110,700	180	19,926	
平成14年	41.80	615.8	257,404	180(220)	47,295	
平成15年	44.39	162.5	72,138	180(220)	15,777	
平成16年	50.60	538.8	272,633	180(220)	50,846	
平成17年	137.10	639.5	876,755	180(220)	167,109	
平成18年	217.64	582.7	1,268,136	180(220)	244,083	
平成19年	254.58	445.4	1,133,856	180(220)	208,606	
平成20年	351.99	534.6	1,881,784	180(220)	341,578	
平成21年	577.56	431.5	2,492,169	185(225)	470,611	

※平成14年からいわい黒導入により、大袖の舞といわい黒を合算してあります。  
 ※単価( )はいわい黒単価です。

# なかさつないむら 北海道十勝 中札内村特産

畑から調理・加工までわずか4時間！液体窒素で瞬間凍結！

● 毎日が旬の味。美味さを閉じ込める瞬間凍結。

『そのままえだ豆』は、畑から収穫後4時間以内に調理・加工を施し、-196℃の液体窒素で瞬間凍結しています。冷凍加工品独特のべたつきが少ないのが特徴です。こだわりの冷凍方法が、『毎日が旬の味』を実現しました。



そのままえだ豆



そのまま黒えだ豆



すじなしいんげん

● 野菜と豆のいいとこどり『すじなしいんげん』。

『すじなしいんげん』は野菜と豆の栄養素を兼ね備えた優れたものです。さやの部分は緑黄色野菜に匹敵するほどのビタミンを含み、豆には血管を丈夫にするといわれるリジンが多く含まれています。また、鮮やかな彩りは、食卓を華やかに演出します。なお、加熱処理はいたしておりませんので、必ず加熱してご利用ください。

● 『安心・安全・美味しい』が、私たちのこだわり。

『そのままえだ豆』は、全て中札内村の生産者と契約栽培されており、生産履歴も明確にしております。また、畑の土づくりにもこだわり、昭和60年には、有機質投入量全耕地 1.92t/10a を実現し、『有機農業の村』を宣言。中札内村全体で『生きた土』づくりにこだわり、『安心・安全・美味しい』えだ豆づくりをしています。

● 甘みが自慢の『大袖の舞大豆』。

『そのままえだ豆』は、中札内村特産【大袖の舞大豆】を使用し製造しております。えだ豆に最適な品種で、なんといっても他にはない甘みが自慢の大豆です。クセがなく、自然な味わいで、大豆本来の味が楽しめます。

● 栄養満点！えだ豆のヒミツ。

えだ豆は、大豆を未熟なうちに収穫したものです。えだ豆には、良質なたんぱく質とともに、大豆にはほとんどないビタミンA・Cが豊富に含まれています。しかもえだ豆は、さやのおかげで加熱してもビタミンCの損失が少ないのです。その他、カルシウムやビタミンB群、食物繊維も含まれています。まさにえだ豆は、自然の健康食品なのです。

● 濃厚な味わい『いわい黒』。

『そのまま黒えだ豆』は、黒大豆の【いわい黒】を使用し製造しております。黒えだ豆とはいえ、豆が黒いわけではありません。濃厚な味わいが特徴の黒えだ豆。一度食べるとやみつきになってしまう人も多いとか。ぜひ一度お試しください。

● 消費者の皆様へ・・・



お客様に「うまいっ」と言っていただけるように一生懸命、畑と向き合っています。『安心・安全・美味しい』が私たちが作る農産物のセールスポイントです。北海道中札内村の美味しい農産物をどうぞよろしくお願ひします。

JA中札内村枝豆事業部会  
部会長 出羽 義幸

JA中札内村 中札内村農業協同組合

本所

〒089-1395

北海道河西郡中札内村東1条南2丁目14番地 TEL 0155-67-2211(代表) FAX 0155-68-3014  
E-mail janaka@netbeet.ne.jp ホームページ <http://www.netbeet.ne.jp/~janaka/>

農産物加工処理施設

〒089-1321

北海道河西郡中札内村東1条北8丁目1番地 TEL 0155-67-2119 FAX 0155-68-3331

# JA中札内村 枝豆加工品



商品名	そのままだ豆
価格	
内容量	300g



商品名	そのままだ豆
価格	
内容量	300g



商品名	すじないんげん
価格	
内容量	250g



商品名	えだ豆羊羹化餅箱入
価格	
内容量	えだ豆羊羹・きな粉羊羹50g各1本入



商品名	枝豆みそ
価格	
内容量	500g



商品名	えだ豆焼酎
価格	
内容量	720ml



商品名	えだ豆そうめん化餅箱入
価格	
内容量	200g×6袋入



商品名	えだ豆そば化餅箱入
価格	
内容量	200g×5袋入



商品名	ミネストローネスープ
価格	
内容量	180g



商品名	えだ豆カレー
価格	
内容量	210g



商品名	黒えだ豆コロッケ
価格	
内容量	400g (5枚入)



商品名	そのままだ豆納豆
価格	
内容量	50g×2ケ入



商品名	えだ豆ソフトクリーム
価格	
内容量	1ケ



商品名	そのままだ豆醤油漬
価格	
内容量	150g



商品名	えだ豆アイス
価格	
内容量	120ml



商品名	えだ豆餃子
価格	
内容量	560g (20個入)



商品名	えだ豆そば寿司 (のり巻・いなり)
価格	
内容量	のり巻~5個、いなり~1個

# 農のちから

②

## 中札内産枝豆



加工処理施設で選別される冷凍枝豆

「うちの枝豆が海外約1000人が感嘆しないで絶賛された。市場は更に拡大する」。十勝管内の中札内村農業協同組合の山本勝博組合長(66)は、09年3月にロシア・モスクワであった日本食品のPRイベントに出席した時の手応えを振り返る。

イベントは農林水産省の主催。23業者が農産物や加工食品を持ち寄る中、最も注目を集

約1000人が感嘆しないで絶賛された。市場は更に拡大する」。十勝管内の中札内村農業協同組合の山本勝博組合長(66)は、09年3月にロシア・モスクワであった日本食品のPRイベントに出席した時の手応えを振り返る。

イベントは農林水産省の主催。23業者が農産物や加工食品を持ち寄る中、最も注目を集

道産農畜産物の輸出  
2000年代に入り、アジアなどの富裕層や滞在する日本人向けを中心に輸出が拡大。07年の輸出額は約15億2000万円で、前年比約24%増。主な品目は▽長イモ1865ト、6億1200万円▽米8877ト、3億2100万円▽ミルク・クリーム・ヨーグルト42万4072箱、2億1700万円▽タマネギ2981ト、8400万円▽ダイコン43ト、1900万円▽ニンジン、カブ類198ト、1100万円など。

# 海外市場に販路拡大

めた産品の一つが同農協の「冷凍枝豆」だった。「なぜこんなに色が良いのか」「おいし

入自由化の動きに危機感を抱き、加工処理施設に大規模な瞬間冷凍施設を導入。09年11月には更に増設した。生産高は04年度の約5100万円から08年度は約3億5900万円に増え、同農協の第5の農産物に躍り出た。



取引先に電話する中札内村農協の山本勝博組合長。トップセールスで販路の拡大を図る。

枝豆は国内では26都道府県に出荷。26都道府県では学校給食にも使われている。だが、国内消費の約半分を占める外国産や他の国産

海外進出には先例もある。帯広市の帯広市川西農協は99年から長イモの輸出を始めた。

【田中裕之、写真も】

# 始業1時間前に着席 ■ 枝豆 自らセールス

## わが道 あの時

11面から



枝豆畑を視察に来た岡本光昭十勝支庁長(中央)を案内する山本さん(左) 2007年9月

村議になったのと同じ  
一九九九年、農協の非常  
勤理事になりました。そ  
の三年後、当時の組合長  
が任期満了で退任し、理  
事の互選で僕が組合長に  
選ばれてしまったんで  
す。びっくりしました。

組合長になった翌日の  
全職員へのあいさつで、  
身だしなみやあいさつの  
大切さを説きました。以  
前から、農協に来るたび  
に、職員のみならず、元  
気がないと思っていまし  
たから。村議は結局、兼職

中札内村農協組合長

山本

勝博さん



たから。礼に始まり礼に  
終わるのは、柔道だけ  
僕には午前八時半の始業  
の約一時間前に、自分の  
席に着くようにしていま  
す。柔道の練習で、たい  
ていの監督は選手よりも  
遅く来ますが、それまで  
選手は気合が入らない。  
監督が先に道場に入って、  
選手を待つのが大切  
です。それにヒントを得  
て始めました。それまで  
は朝礼の一分前に出勤し  
てくる職員もいました  
が、今ではみんな、早め  
に来て一日の準備をする  
ようになり、見違えるほ  
どやる気が出てしまし  
た。

組合員の収入を安定さ  
せようと、農協で力を入  
れているのが冷凍枝豆の  
販売です。九二年から作  
付けを始めましたが、加  
工する工場が小さかった  
ため、当初は年二百トほ  
どしか加工できなかった。  
そこで、二〇〇五年  
に農水省の補助金を受け  
て工場を増設しました。  
道や国に何度も出向  
き、普通は三年かかるど

月で補助を認めてもら  
いました。現在は年千二百  
ト以上加工しており、一  
れを二千トまで増やす  
が目標です。  
そのためには、消費  
伸ばさなければなりません。  
少しくとも生産者の  
収入を増やすため、うちの  
枝豆は、すべて独自に  
販路を開拓しているん  
です。  
年に二十回以上、東  
の商談会などに私自身が  
出席します。職員では  
前払いされるところも  
も、組合長が行けば話を  
聞いてくれる。僕なんか  
で良ければ、どこへだ  
って行きますよ。それが  
協のためになるんだ  
の。

最近、どんな時でも  
枝豆のことばかり考え  
ています。食事をしてい  
ても、何か枝豆と組み合  
せられる料理はないか  
と、ずっと頭を悩ませ  
ています。以前は、柔道  
ことばかり考えていた  
のに、変わるものですね。  
村の子供たちへの柔  
道の指導は今でも続  
けていますが、そろそろ  
若者が道を譲る時期  
が第一です。農協は  
経済を担っており、決  
て後退させられません  
ら。